

各 位

会 社 名 株式会社丸千代山岡家  
 代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 正  
 ( J A S D A Q ・ コード 3 3 9 9 )  
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 成田 弘之  
 T E L 029-896-5800

平成 27 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 26 年 3 月 7 日付「平成 27 年 1 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました、平成 27 年 1 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 1 月期業績予想との差異

第 2 四半期累計期間(平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,160	23	43	21	26.73
実績値 (B)	4,292	35	58	3	3.82
増減額 (B) - (A)	132	12	15	△18	—
増減率 (%)	3.2	52.7	34.9	△85.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 1 月期 第 2 四半期)	4,235	△10	7	△165	△204.44

2. 差異発生の理由

売上高につきましては、消費税増税に伴い外食に対する支出の抑制が懸念されておりました。このような状況下、当社は新規に 1 店舗の出店を行い、更に 2 店舗の閉店を行いました。レギュラーメニューの追加、期間限定メニューの定期的実施などもあり 4,292 百万円(当初予想比 132 百万円の増加)となりました。

利益につきましては、店舗でのロス管理などによる原価の抑制、ワークスケジュール管理による人件費のコントロールを継続して行っております。電気料金を主因としました水道光熱費の増加などもありましたが、予想売上高の増加に伴う売上総利益の増加もあり、営業利益は 35 百万円(当初予想比 12 百万円の増加)、経常利益は 58 百万円(当初予想比 15 百万円の増加)となりました。

また、特別損失において、店舗閉鎖損失 35 百万円が発生し、四半期純利益は 3 百万円(当初予想比 18 百万円の減少)となりました。

なお、通期業績につきましては修正はありません。

3. 特別損失の発生

店舗閉店に伴う設備の除売却により、店舗閉鎖損失を 35 百万円計上しております。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上